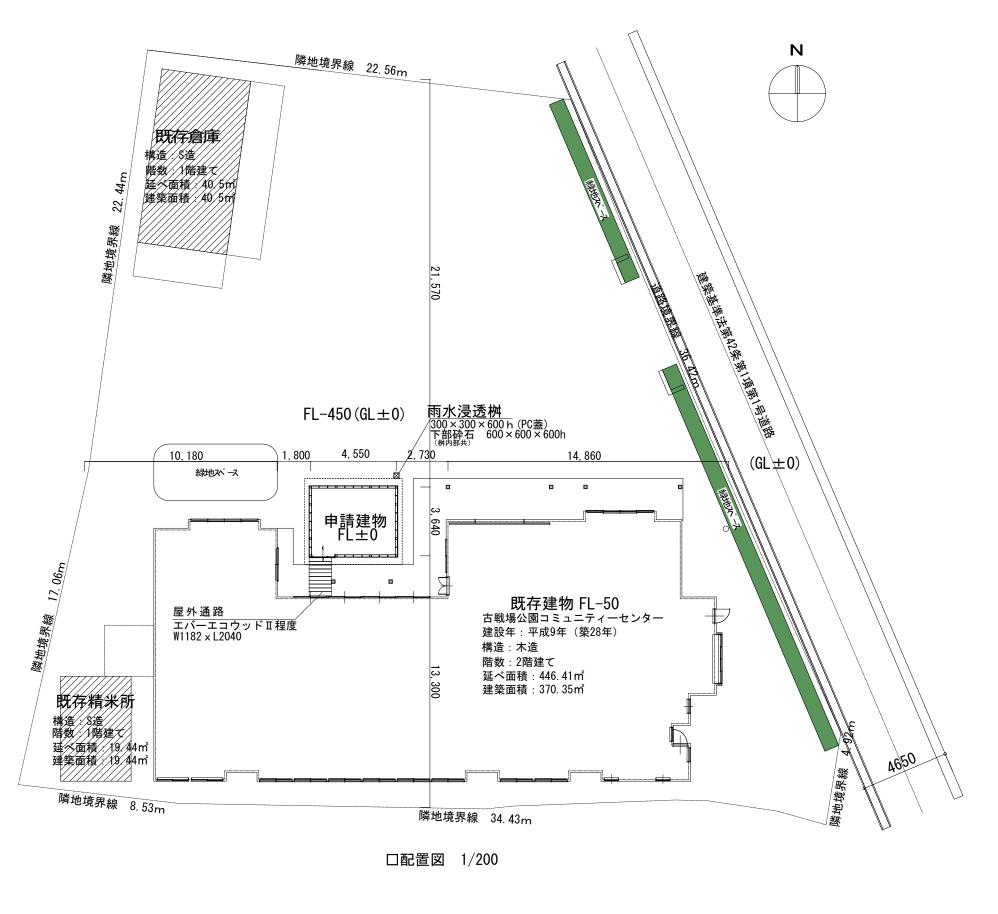
				② 建築材料等	建築材料等		③ 1. 埋戻し及び盛土	種別 · A種 ※ B種 · C種 · Di	種	(3.2.3) (表3.2.1)	① コンクリートの	※ 普通コンクリート			(6. 2. 1~6. 2. 4) (6. 14. 1)
古戦場コミュニティーセンター収納庫設置工事 仕様書			本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。 ただし、製造業者等が配載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を 受ける。なお、JIS及びJASの表示のない材料及び製造業者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。		土 エ 事 ② 建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理 ○ 構内の造成に利用 ・ 構内の指定場所	(3.2.5) 場所にたい積 ・ 構内の指定範囲に敷きならし		ロン 使用骨材による 種類及び強度	設計基準強度 気乾 Fc (N/mm2)		cm)	適用箇所		
I 工事概要					(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されて (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われている (3) 安定的な供給が可能であること		④ ① 支持カ又は 支持地盤の確認	- 支持地盤の位置及び種類 ・ 杭基礎(基礎杭の先端の位置含む)		5) (4. 4. 4) (4. 5. 4~6)	7 - -	· 21 ※ 24	2.3程度	3 ·	
	1. 工事場所	長野県上田市下之条600、599、598-2、597-6, 597-1			(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある		業工	● 直接基礎(基礎底部の位置含む) 長期設計地耐力 () kN/m ²	・構造図 () による ・			<u></u> O₁8	2.3程度	•	
	2. 敷地面積(㎡)	1274. 95m²			(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること	<u> </u>	事	試験堀り(根切り底の状態の確認等) ① 行わない					•	B 	
	3. 工事種目	新設工事			これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品 機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出してす なお、(一社)公共建築協会で発行する「建築材料・			・ 行う 位置等 構造図(試験			② レディーミクスト コンクリート	種別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類	i		(6.2.1) (表6.2.1)
-	建物別	種 別 構 造 階 数 梁間(m) 桁行(m) 建築面積(m) 延面積(m)			版)」に指定された材料については上記(1)~(6)に該また、備考欄に商品名が記載された材料については、	当するものとする。		試験杭 位置、本数、寸法 ※ 杭の載荷試験	・ (構造図()による・		③ セメントの種類				(6.3.1) (表6.3.1)
-	倉庫	倉庫 木造 平屋 3.64m 4.55m 16.56m 16.56m			承諾を受けた材料とする。	一当め同田同寺の圧能と行するものとも、重日収長の		試験の実施 ・ 行う ・ 行わな 試験内容 ・ 鉛直載荷試験				セメ: ※ 普通ポルトランド	ン ト の 種 類 ゚セメント		鱼用 箇 所
-			[特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該象	製品所の指定する工法による。			検方法等 ※ 構造図 () による			高炉セメント(・ シリカセメント(
-			[① 技能士	◎ 適用する(一級技能士を採用している現場である旨			試験の実施 ・ 行う ・ 行わな				・ フライアッシュセ ・ 普通エコセメント	メント(・ A種 ・	B種)	
-					・適用しない ①以下の表による他監督員の指示 適用工事種別	示による 			※ 標垣図 () による ・※ 標仕4.2.5に定める事項 ※ 土質資料			普通ポルトランドセメ	ントの品質は、JIS R		の規定の全てに適合するものと
仮設工事				スポロス人「ド本		○スクリューウェイト貫入試験を行う 建物基礎下の5測点以上を実施する				する。ただし、無筋コ		場合を除く。 352 J/g 以下			
·	1. 共通仕様	(**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**)				・コンクリート圧送工事作業	② 砂利地業	砂利 ※ 再生クラッシャラン ・ 切		(4. 6. 2, 3)		水 和 熱		402 J/g 以下	
	編)」(最新年度版	たのかな、パン・ダンマスは、エミロエンを目が出るの目が目的が出来が、エスを来上する。 が、似下「機士」という)による。 特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係			コンクリートブロック・ ALCパネル・押出成形			砂 ※ シルト、有機物等の混入しなり 砂利地業の厚さ及び適用範囲	:い締回のに適した山砂、川炒 ・ 幹炒		④ 骨材の種類	使用骨材のアルカリシ ※ A	リカ反応による区分		(6. 3. 1) (6. 11. 2)
	法令等(条例を含む	作品が必引かれる、J以下に共体的な内材・上広・検索刀広寺を初示している場合にあいて、てれるか関係)と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。 機械接偏工事を木工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。			セメント板工事 エーエルシーパネ			厚さ	適 用 箇 所 遊楽下、土間コンクリート下、土に接するス	ラブ下		- M 11	中のアルカリ総量 Rt=	3.0kg/m³以下)	
	2. 特記仕様				アクリルゴム系当			○図示 ○図示・	EXT (III) - 2 / 7 / 1 / I I I I I I I I I I I I I I I I I		② 混和材料	○混和剤 (JIS A 6204			(6.3.1)
	(2) 特記事項は、 ①) 印の付いたものを適用する。 印の付いたものを適用する。			・ 合成ゴム系シート ・ 塩化ビニル系シー	ート防水工事作業		砂地業の厚さ及び適用範囲				・ 混和材 (JIS A 6201	に適合するフライアッ	の塩化物イオン量による区分 ≀シュのⅠ種又はⅡ種、JISA	
	⊙ 印と ⊗ 印の付	計算合は、※ 印の付いたものを適用する。 けいた場合は、共に適用する。			・ 改質アスファルト	エ事作業 ・シーリング防水工事作業 トシートトーチ防水工事作業 ・FRP防水工事作業		厚 さ・図示	適用箇所				:JIS A 6202に適合する)膨張材) 	
	(4) 特記事項に記載の	()内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。			石工事 ・ 石張り作業 タイル工事 ・ タイル張り作業						⑥ 構造体強度補正		平均気温の平年値が2	5°Cを超える期間にコンクリ-	(6.3.2)(表6.3.2) -トを打ち込む場合)
	(5) 製造所名は、五十	音順とし「株式会社」等の記載は省略する。			木工事 ・ 大工工事作業 屋根及びとい工事 ・ 内外装板金作業	・ かわらぶき	③ 捨てコンクリート 地業	 厚さ及び適用範囲		(4. 6. 4) (6. 14. 3)		構造体強度補正値	※ 6N/mm2 ·		
章	項目	特 記 事 項			金属工事 ・ 鋼製下地工事作業 左官工事 ・ 左官作業	業・内外装板金作業		厚さ	適 用 箇 所 産梁下、土に接するスラブ下		→ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート			(6. 14. 1~6. 14. 3)
1	① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・ 敷地調査共通仕検書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課				械 加工作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ 自動ドア施工作業		○図示 ○図示・	EXT TEXT ON TO			設計基準強度 スラ Fc (N/mm2)	ランプ (cm) セ	メントの種類	適用箇所
般共		※ 工事写真の撮り方 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・ 公共建築改修工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修			カーテンウォール工事 ・ 金属製カーテンウ	ウォール工事作業 エ作業 ・ ガラスエ事作業	←		 び土間コンクリート下(ピット下を除く)	(4, 6, 5)		* 18 * 15		ルトランドセメント ↑セメントのA種	※ 捨てコンクリート、 標仕6.14.1(4)に定める箇所
通事項		 公共木造建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ※ 建築工事監理指針 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 			塗装工事 ・ 建築塗装作業	ま仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業	()	・ ポリエチレンフィルム厚		(4. 0. 0)			高炉セク	ントB種 プッシュセメントB種	
		・ 建築改修工事監理指針 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編) 建設省建設経済局建設業課・ 住宅局建築指導課監修			内装工事 ・ カーペット系床位	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			子さV. ISIIII以上 () 図小 「		 ⑧ 打継ぎの位置、	打継ぎ位置 ※ 標仕6			(6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3)
		・ 長野県建設リサイクル権進指針 各基準等は最新年度版を使用する。			排水工事・建築配管作業・溶験ペイントハン	ンドマーカー工事作業	⑤ ① 鉄筋の種類			(5. 2. 1) (表5. 2. 1)	ひび割れ誘発目地、		0㎝以上、深さ10㎝以上	· 図示 () (
	工事実績情報の登録	Tabiffでは成めて反似とはカナラ。 ※ 適用する ・ 適用しない				シンマーカー工事作業	鉄館	規格の名称 種類の記号 呼 鉄筋 ○ SD295 ※	呼び径(mm) 適用箇所 : D16以下 ※ 図示 ()	備考	1146 C DAS			は、躯体外側の打ち増し厚さ	部で処理する
	③ 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による (1.2.2)				具(手・機械)加工作業 ・ 樹脂接着剤注入工事作業 ◆	事	コンクリート用 ・ SD345 ※ 棒鋼 (異形鉄筋) ・	D19以上 ※ 図示 ()		コンクリートの 仕上り	合板せき板を用いる: 種別	コンクリートの打放し	仕上げ 適用箇所	(6.2.5) (6.6.6) (6.8.3) (表6.2.4、5)
		※ 風速(V ₀ = 30) ※ 地表面粗度区分 (・ I ・ II ⊙ III ・ IV) ※ 積雪区分 建告示第1455号 別表(27)	-	(1) ル学物質の連座測ウ	・ ガー			高強度せん断補強筋	大臣認定	E番号 ()	119	· A種	礎内外立上り部見え掛		
		建築非構造部材の耐風及び耐震設計 耐風圧性能 (建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)		₩ 14子初貝の辰及測定	検査機関		② 溶接金網	形状等 種類 種類の記号 網	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	(5.2.2) 適用筒所		O C種 基础	萨埋設部	0.9	
		建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 外壁、屋根等の非構造部材の耐震設計は次による			※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員 測定物質			○溶接金網 ・ 鉄筋格子	NAC MANOR (IIII)	起用图用		コンクリートの仕上が	がりの平たんさ	適用箇所	
		検討に用いる層間変形角 (※1/100 (S造) 1/200 (RO造、SRC造) 設計用水平震度 (※1.0)			※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシ ※ パラジクロロベンゼン ※ スチレン ・		 3. 圧接完了後の試験			(5. 4. 10)		・ a種 ・ b種			
		設計用鉛直震度(※0.5			測定個所(室)	計個所	5. 正按元] 後の訊款	抜取試験	ツ 福山 C A 10 (ハ (ム)」 - トフ			· C種			
	④ 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)			※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定 化学物質の室内汚染濃度指針値(厚労省指針)	定する者が立ち会いの下に行う。			※ 標仕5.4.10 (イ) (a)による※ 標仕5.4.10 (イ) (b)による		① 打増し厚さ	打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打	増し厚さ(外部に面す	る部分に限る)	(6.8.1)
		※ 現場説明書・施工条件明示事項による (1.3.5)				エチル パラジクロロ スチレン 備 考 ンゼン ベンゼン	④ 鉄筋の継手	継手方法 適 用 箇 所	継手方法と適用径の範囲	(5. 3. 4) (5. 6. 3)		- 20mm -	増し厚さ(内部に面す		
	 発生材の処理等 	※ 構外搬出適正処理 ・ 別紙解体工事仕様書による ・ 現場説明書による (1.3.11) また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。		,		. 88ррт О. О4ррт О. О5ррт		・柱主筋・力	ガス圧接(D19以上) · 重ね継手(D16以下)			・ 10mm ・ 外装タイル後張り	20mm		
		 引渡しを要するもの ・再生資源の利用を図るもの 		① 完成図等	※ 作成する ※ 完成図 (※ 設計図書で示したもの全て・・	(1.7.1~1.7.3) (表1.7.1) 埋仕素1.7.1による。 監督員の指示による)		 耐力壁 重 	ガス圧接(D19以上) ・ 重ね継手(D16以下) 重ね継手 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			・ 20mm ・ 打増し範囲 ※		٠, ٠	
	 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 (1.4.1)			作成方法 ※ 製本 (※ 見開きA3縮小				ガス圧接()・ 重ね継手()・		(1). 型枠	せき板の材料			(6. 8. 2) (表6. 8. 1)
	() 垛光、() 山瓜	ルー・カース といれて とう シェルタイラ イー・			※ CADデータ (※ CD-R (1部) ※ 保全に関する資料(2部)	,		<u> </u>			U. ±1+	※ 合板 (⊙ 表面加		[B-C ・) ○ ・ 広葉樹合板	(0. 0. 2) (3x0. 0. 1)
		(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、	-	 13. 完成写真		n/a L + 7		鉄筋の継手位置 ※ 各部詳細図参考図に 鉄筋の重ね継手 ※ 各部詳細図参考図。	よる 構造図()による 標仕表5.3.2による 構造図((5.3.4)		厚さ ※ 12mm	ı ·	事特記仕様書による	
		その他の木質達材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、 放散が極めて少ないものとする。		10. 元似子具	下記のものを監督職員に提出する。原版は撮影業者の 分類・規格 撮影 箇所数			耐力壁の重ね継手の長さ ※ 標仕5.3.	3.4 (3)(7) による ・ 構造図 () に 森合う継手を同一箇所に設ける場合 ・ 構造	こよる			の適用 ・図示(
		(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ない ものとする。			・ カラー写真(製本) 外部()内部() ・ パネル(木製枠) 外部()内部()			鉄筋の定着長さ ※ 各部詳細図参考図、) による			及び標仕 表6.8.1によ	٠ ·	
		(3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を 使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させ			※ 電子データ 外部()内部()	※ 2 · ※ 428万画素以上 · 800万画素以上 ※ 350dpi以上		確保できない場合 ※標仕図5.3.3、	標仕5.3.4(5)(4) (a)~(c)による ・ 構造 ・ 適用する (適用箇所及び種類 ※ 棹	図()による	12. 生コンの品質管理				
		ないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを放散させないか、放散が極めて			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8ビット	ト(フルカラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)	ZIN V VZNENOVIEK W I	(5. 3. 5)			:右かサインしたUU版(供試体型枠側面に張り付ける 	唯秘版/ を入れる。
		少ないものとする。 (5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、			CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者	者で監督職員の承諾する撮影業者	及び間隔(溶接金網含む)	※ 標仕表5.3.6による ・ 構造図 ()による ○ 無し ・ 有り (※ 主筋の径の1.5・		③ コンクリートの 単位水量測定				
		ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が緩めて少ないものとする。 (6) 建築材料等は、クロルビリホスを成分として含有せず、施工においても添加しないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量がた☆☆々のものを、ホルムアルデヒドの	-	14. 設備工事との取合い	: 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出	出して、監督職員の承諾を受ける。	(治技並納益化)	特殊な要求性能におけるコンクリートの部 ※無し ・ 有り 適用箇所(定は、150m³に1回以上 限値は、標仕6.3.2(2		が認められた時に実施する。
		放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則としてF☆☆☆のものを使用する ものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。		⑤ 設計GL	※ 図示 ・ 設計GL=現状GL ① 監督員の指示	 示による	 7. 機械式継手	 適用箇所、性能、種類、鉄筋総合のあき等	 等 ※ 構造図()による ・	(5. 5. 3、5)		(3) 単位水量の管	理目標値は次のとおり	しとして施工する。	という) ±15kg/m³の範囲にある
		■ 担制 対象 从	2	① 足場その他		役置においては、「手すり先行方法による (2.2.4)	1		頁目、試験方法、不合格となった場合の措置 (試験対象、不合格となった場合の措置			場合はその	まま施工する。		る場合は、水量変動の原因を調査
		② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品			足場の組立て等に関する基準」における2の(2)「手す より行うこと。	すり据置方式」、又は(3)「手すり先行専用足場方式」に	8. 溶接継手		 等 ※ 構造図()による ・	(5. 6. 3、5)		するととも	に生コン製造者に改善		ンは打設する。その後、設計値
		(a) Falax (N) の Gov/Objection(a) 非ホルムアルデヒド系接着剤使用(b) 接着剤等不使用	仮鉛	2. 監督員事務所	※ 設けない · 設ける	(2. 3. 1)	1	施工完了後の試験 ※ 外観試験(試験項	頁目、試験方法、不合格となった場合の措置 (試験対象、不合格となった場合の措置	※ 構造図による)		3) 設計値±20)kg/m³を超える場合は	、生コンを打込まずに持ち帰	■の別定とする。 らせ、水量変動の原因を調査すると €の全運搬車の測定を行い、設計値
			工事		規模 ・ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ ((9) 各部配筋	※ 各部配筋参考図及び構造図 ()				±20kg/m³J		する。更に、設計値±15kg/mi	3以内で安定するまで運搬車の
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料準備用		③ 工事用水	構内既存の施設・利用できる(※ 有償・・		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				4) 3)の不合格	生コンについては、研	実に持ち帰ったことを確認す	- る。 、打込み時の外気温、コンクリート		
			-	④ 工事用電力	構内既存の施設・利用できる(※ 有償・	無償) ※ 利用できない (2.3.1)		梁開口部の補強 ※ 各部配筋参考図及び				温度等) と写]	真により提出する。		. 打込み時の外気温、コンクリート エアメータ法又は静電容量測定法に
		① d15及G-MASD / FXYX現代品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③ 旧JISOE5規格品												E加烈虹深法(電子レンン法)、 リート製造所以外の機関とす	
		③ IBJASのFco規格品 ④ IBJASのFco規格品			_										2025. 06改訂
		上田市都市建設部建築課			事業年度			T	事 業 名	古戦場コミュニ	ニティーセンター4	又納庫設置工事	Į	SCALE	NO. A-1
		上日三宝三年以三年末末			R-07				図 名	建築工事 特詞	2仕様書(1/3)			No Scale	" '

Martin M	① ① シーリング	下表以外は、標仕表 9.7.1による (仕上げを行わない部分 ※ 図示) (9.7.2、3.5)(表 9.7.1)	(6) 合板等のつづき	○ 構造用合板	10 1. 下地	ラス系下地		(15 2 4~7)	12 1. 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)	
The content of the	b b b b b b b b b b	ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは		池工 厚さ 宝鍋 表板の 接着の 板面の 版画 版由処理 途産等級 集の	左	・ 通気工法(・ 二層下地 ・			12 1. 1947 塗	※ F☆☆☆	
State Stat	水工事	施工箇所 シーリング材の種類(記号)			事	・ 外断熱工法(・ 図示 ・		. ,	X		
A Column	7	各建具外壁取り合い部 MS-2		N		ラス及び補強用平ラス ※標仕			2. #35205%	下 地 面 等 種 別	
Wide 1 1 1 1 1 1 1 1 1		No. of the Children with the Children (No. 1)		· 1級 状態) · しない		ステープル ※標仕15.2.4(3)(・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種	
State Stat				東大宗正 厚さ 接着の ル針振に体用する単振の掛係 昨中加田 間伐材		 換気口部の措置 ※公共建築木道				上記以外塗りの場合 ・ A種 ・ B種 ※ C種	
Column C	② 保証			- (IIIII) 住及 ・適用する ・		せっこうボードその他ボード下地		万法 ※図示 ・		モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※ B種	
Company Comp						木質系セメント板の種類及び厚さ				コンクリート面(DP塗装)及び押出成形セメント板面 A種 B種	
Part	8 ① 表面仕上げ	○ 標仕12.2.1による ・ 信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品		施工箇所 品目 厚さ 接着の 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材 生の 単板の樹種名 地板加工の方法 ちゅう 単板の樹種名 地板加工の方法 ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう ちゅう かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっ		建築基準法に基づく耐力壁の指定	・あり (※ 図示 ・) ・				
Part	事			・ オーバーレイ ・ 適用する			(心去り材) ・		3 鎮止め涂生涂り	(18 3 2 3)	
The control of the	② 製材	(12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) (12. 6. 1) (12. 7. 1)			2 エルカル涂り	工川夕川廿料 申用根類会廿料	. 肝調合計約	(15.3.2.5)	v. mmv=&= /	下 地 面 等 工程の種別 塗料の種別	
Part					2. こルブル至り	既製目地材 ・ 設ける 施工箇所				SUFOJ 場合 見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種 ※ A種	
The content of the		(側面) 等の週用		※ 15 ※ 13タイプ ※ P又はM ・		床目地 ・ 設ける	18 I B 44			ED_Gの場合 見え掛り部分 ※ A種 · B種 . A種 ※ B種	
Company Comp						設置間隔 ※		図示		gnpの場合 鋼製建具 ※ A種 · B種 ※ A種 · B種	
April 1		・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材				外壁タイル張り下地等の下地モルタ	ル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験			亜鉛めっき銅面 DPの場合 ※ 標仕表18.3.6による ※ B種	
The control of the				原文 実変面の分能に 曲げぬえに 控ぎ割に 継帳性にとる		※ 防水剤	*	N		EP-Gの場合 調製建具以外 · A種 ※ B種 ※ C種	
Part 19 19 19 19 19 19 19 1				施 上 圏 所 (mm) よる区分 よる区分 よる区分 区分	2 #1 - 2 / 5			4. 塗装			
CHANGE 1987						上げ 平坦さ	平坦さ 適 用 部 位			木部屋外 ※ A種 ・ B種 -	
STATE STAT			⑦ 接合具等				・ 合成樹脂塗床下地 ・ ビニル系床材張			ペイント塗り (SOP) 鉄鋼面 ・ A種 ※ B種 -	
The content				諸金物の材質 ※ 標仕表14.2.2のF種程度 ・ 図示			フリーアクセスフロア下地(溝工法)・	-ンノノ ドロ切し任工		・A種 着色剤(・溶剤系 油性)	
Column C		施工圏所 樹 種 (mm) 等 級 形 状 宮 水 半 等の適用	- - - - - - -			※ 3m につき 10mm 以下	・ セルフレベリング材塗り下地		・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ・ A種 ※ B種 -		
Part		※ 1級 ※ 10%以下					タイル張り下地モルタル塗り下地	•		亜鉛めっき銅面 標仕表18.7.2による 上塗り等級()級	
A STATE ST				・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理			次 工で相定のないもの			及び押出成形 ・ A種 ・ B種 ・ C種 -	
2 10 10 10 10 10 10 10		佐工笠所 樹 括 寸法 造作材の			#					コンクリート面等 ・ A種 ※ B種 -	
		(順) 村国の品質 等の適用 ※ Δ番			夏 ② 見本の製作等 エ **			(16. 1. 4)		エマルションペイント 屋内の鉄鍋面 ・ A種 ※ B種 -	
ACT Part Control C					③ 防犯建物部品		·)	(16. 1. 6)			
************************************	3. 造作用集成材									 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・ A種 ※ B種 着色剤(・溶剤系 ・ 油性) 	
Company Comp		ナ注 関格社等の			(4) アルミニウム製建	耐風圧性、気密性及び水密性の等	F級	~5) (表14.2.1) (表16.2.1、2)		・ オイルステイン塗り(OS) ※ 図示 -	
### 0000000000000000000000000000000000		施工固所 倒程 (mm) 見行行材面の等級 適用				 B種(建 	具符号: ※ 建具表による)			
************************************		※ 1等 · 2等		・ 接着材への薬剤混入による防腐・防蟻処理		・ D種 (建具符号: ※ 建具表による ・))	① 接着剤	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆ · (19.2)	
### 15							・ 適用する 遮音性の等級 ())			
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		施 エ 箇 所		適用部位(North 19-re Land North Line	適用しない			※ FS (梅屋ピール店シート) ・図示 ・無地 ・柄物 ※ 2.0	
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.						断級トアセット、断級サッン	(建具符号: ※ 建具表による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)		たいもの rs (単属ピール中シート) ・図示 ・無地 ・柄物 ・図示	
### 1					1)		表による ・ 70 ・ 100 ・		- HS (登海梅岡ビール(中シート) ・ 図示 ・ 無地 ・ 柄物 ・ 図示		
1		オン 間代対等の		床組に用いる木材 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示 ・		ステンレス製のくつずりの仕上げ				あるもの ・ KS(ケッションフロア) ・ 図示 ・ 無地 ・ 柄物 ・ 図示	
************************************		ルエロが 間性 (mm) たいが知め出具 ロボギ 適用		窓、出入口その他 (12.5.1)		外部に面する建具 · BB-1種		1			
************************************				その他 ※ 杉 ・松 ・図示 ・		着色(・	標準色 ・ 特注色 ・)	J			
### 2 # 2 # 2 # 2 # 2 # 2 # 2 # 2 # 2 #		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材				皮膜等の種	種類 (※ 標仕表14.2.1による ・)		・ TT (単層ビニル庄々ズル) ・ 図示 ・ 無地 ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 2.5	
### Annual Control (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		施 工 箇 所 化粧薄板の 芯材の 寸法 化粧薄板の 見付け 含水率 間伐材等の 適用	③ ① 長尺金属板葺	(13.2.2、3) (表 13.2.1)		結露水の処理方法 ※ 排水式	・ 水貯め式 ・			- FT (海陽ビール庄々イル) ・ 図示 ・ 無地 ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 2.5	
4 巻の無数数数 0.4271/11 12 日本		※ 15版下		- 施工固所 コイルの種類 めっき付着量及び記号 (mm) 歴代章形式 偏考		木下地の場合の内付け建具・	適用する ・ 適用しない	a .		※ KT (コンポジションピール庄々イル) ・ 図示 ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ 2.5	
1 日本			屋根	屋根用コイル ・		мм.я. 止加 ∧ 处未的有"故谓®	ここ・・ソ MA 光 ILL IDUI 四1~5~9 IT 四 17 Pib 以り数)	····		- FOA(需数キビール中々イル) - 図示 - 無地 - 450×450 - 5.0 - 5.5	
本書 本書 本書 本書 本書 本書 本書 本書	4. 造作用単板積層材		ぴ と い	1)		建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等	金物の種類·見え掛り部の材質等 (16.8.2,3) (表16.8.1-			・ 桁物 ・500×500 ・図示 ・ 図示 ・ 無物 ・ 450×450 ・ 2.0 ・ 2.5
株の 1 日本			事	・ 改質アスファルトルーフィング下葺材		※ 標仕表16.8.1及び適用は建具表	たによる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			- FUB (海室直敷をヒニル床ダイル) - FM物 - 500×500 - 3.0 - 図示	
接触性性には対した主性機能はいの合性性を経験は、いっというなどの表にない。		・ 有り(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工) ・ 適用する		工法		※ 標仕表16.8.2~4による				種類 施工箇所 性能 寸法 厚さ(mm)	
第三 正 京				耐風圧性能(建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)		※ 標仕表16.8.5による ・建				・ 帝電防止床シート ・ 10 ⁷ ~10 ¹⁰ Ω ・ 3.0 ・ 図示	
金加		施 工 筒 所 厚さ 表 面 の 品 質 防虫処理 含水率 間伐材等の		横葦のけらばの適用 ・ つかみ納め ・ けらば包み納め		※ 建具表による・	※ 建具表による・・			・ 帝電防止床ダイル ・ 10 ⁴ ~10 ⁶ Ω ・ 450×450 ・ 3.0 ・ 図示	
・ 報告の		・ 有り (加工 · 天然木加工 · 適用する ※ 14%以下 ·		雪止め (→) 設置する(図示) ・ 設置しない		シリンダーサイド ※ 外側シリ		•		・ 倪克隆音石用床ダイル ・ 配列は、JIS T 9251による ・ 450×450	
- 表表現理解を () ・ ステンレス機能						耐じん性能 ・ グレード1	⊙ グレード2			・ ff 助何 単性 体ンート・ 3.0 ・ 図示	
施工 原 所 品名 強度等級 種別 接着性能 根種名 寸法 開放材等の 適用 とい受け金物及び全物の材質、形状及び留付付開陽 ※表13.5.2による・図示 200 × 200 ・ 2.0 ・ 2.5	5. 直交集成材	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 · (12.2.1)		・ 表面処理鋼板 () ・ ステンレス鋼板		その他の性能項目はグレード3	とする。また鍵による施錠が可能なものはマス			- 防滑性床シート - 3.0 · 図示	
************************************				とい受け金物及び足金物の材種、形状及び留付け間隔 ※表13.5.2による ・ 図示		品質・性能 ※ 建築材料・設備					
(協工箇所及び工法: ※ 標仕表13.5.4による・図示・・		30.71		防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・		ディレードアクション(遅延閉) 概				工法 特殊な床下地の工法 ・ 図示 ・	
③ 合板等				(施工箇所及び工法: ※ 標仕表13.5.4による ・ 図示 ・)							
上田市都市 10m	(6) 合板等	・下地用合板		ルーフドレン			_	•			
				7 7 MAX (MINUS) IN 1 V V V V I I IN M 77 M V V V V V V V V V V V V V V V V		鍵の引き渡し ※錠1に対し対	応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、一括し	て鍵箱に収納して引き			
						•				2025.06改訂	
No Scale		上田市都市建設部建築課					1				
				IN-01			凶名	建築工事 特	等記仕様書 (2/3)	NO SCATE	

Ø 4-114π±	++所 動所 正所	(10.2.2)	(集D)	(10.0.0) /# 10.0.1	7 ± 11 14 ~ 11 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	丁東四根のノコ ジマ… ゴ						
内 装 エ	材質 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 ・ 75 厚さ(mm) ※ 1.5以上・	(19.2.2) 8. 畳敷き	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床: ・ KT- I ・ KT- II 衝撃緩和型畳	(19. 6. 2) (表 19. 6. 1) (19. 6. 2) (表 19. 6. 1)	(1) 工事現場の環境 み善について	エ事現場のイメージアップ ・仮囲い周辺の美化 地域住民への情報提供						
Tan		(19. 2. 2)	(明学校刊空室 ・ 適用する (床表 ・ C1 ・ C2) ・ 道 下地の種類 ・ 標仕 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地		也	・完成予想図の設置 ・情報掲示を 地域住民とのコミュニケーション ・現場見学会の開催 ・	板の設置 ・ パンフレットの作成					
	寸法(mn) · 図示			デヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない		住民に対する災害防止関係 ・ 現場出入口周辺への誘導員の配備						
5. カーペット敷き	・カット・ウィルトン	表 19.3.1、2) 備 考	材料を使用したものとする。	(19.7.2、3) (表 19.7.1)	② 不具合の確認	 工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月(新営に 報告する。	限る)に不具合の確認を行い、その結	果を書面で上田市長あてに				
	・A程 パイル カーペット ※ 無地 ・ 適用する	その他のボード		原 + () . 相被答		(施設管理者からの聞き取り調査を含め、	調査には必ず監督員の立会いを要する	。)				
	・ b程		・ 中質木毛セメント板 MW	· 15 · 20 · 25 · 図示 · · 15 · 20 · 25 · 図示 ·	③ 産業廃棄物等の 取扱い		が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及 関する法律」(以下「廃棄物処理法」と					
	カーベット カーベット グリッパー工法の下葺き材		 ・ 硬質木片セメント板 HF 	· 15 · 20 · 25 · 図示 · 12 · 15 · 18 · 21 · 図示 · 30 · 図示		こと。 (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託すること。 また 放下	する場合は、廃棄物処理法に基づく処: 前に産業廃棄物処理委託契約書の写し.					
	※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ 接合方法		けい酸カルシウム板0.8FK	タイプ 2(無石線) ・6 ・8 ・図示・			前に産来廃業物処理安託契約書の与し、 処分地の案内図等をまとめた「廃棄物!					
	※ ヒートボンド工法 ・ 手縫いでつづり縫い ・ タフテッドカーペット		スレート ・ フレキシブル板 F ・ 敦質フレキシブル板 NF	· 4 · 5 · 6 · 8 · 図示 · · 4 · 5 · 6 · 図示 ·		(3) しゅんエした時は、廃棄物ごとに処理を添付した「廃棄物等処理報告書」:		処分状況の写真等				
	- カットパイル - 5~7 - ※ 金面 接着工法 - 適用する (人体帯電圧 3kv以下)		・ 半敬 S 0.8FK		④ 環境対策関係	(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、1(2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。1ルートの選定に当たっては影響の少3	ただし、監督員の承諾を受けた場合は		-			
	・ カット、ルーブ併用 ・		1. 0FK	・UV塗装 ・ シート張り ・ 化粧単板・ 一般塗装 ・		(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努め (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しない。	ること。また、表土復元等、環境の回	复に努めること。				
	・ ※ 灰モマエルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タイルカーベット		・火山性ガラス質複合板 VSボー	・図示 密度による区分 (・) 化粧加工による区分 (・) ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・図示・	安全対策関係	(1) 工事現場においては、労働災害、公会	 衆災害防止に努めるとともに、全作業	 員を対象に定期的に安全	-			
	パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備 ※ 第一種 ・ 図示 ※ 500×500 ※ 6.5	横 考	・ 素地ハードボード HB			教育、研修及び訓練を行うこと。 (2) 安全教育、研修及び訓練については、 ほか、実施結果、実施状況の写真、5	、工事期間中に月一回程度実施し、工 安全教育に使用した資料等も整理する					
	** ルーフハイル ・第二種 ・ 図示・ ・ サットパイル ・第一種 ・図示 ※ 500×500 ※ 6.5		内装用化粧ハードボード IB	・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ 図示 ・ 内装用 DI ・ 外装用 DE		(3) 原則として代理人(主任)以外の第3 日誌へ記載するほか、点検内容等を	三者により、月1回以上店社による安全 別書面に記録し、実施状況の写真を撮	パトロールを行い、工事 影すること。				
	・カット・ループ併用 ・第二種・図示・500×500 ※ 6.5 ・カット・ループ併用 ・第二種・図示・ 図示・		・ミディアムデンシティ ファイバーボード MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・図示 ・ A級(・天井仕上 ・内装仕上 ・)		(4) 下請業者にKY(危険予知)、TBM(作 ともに、随時、実施状況の写真を撮影	影すること。					
	カーペットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き ・模様流し ・		・ インシュレーションボード・ 単板張りパーティクルボード	- 9 12 15 18 図示		(5) 下請業者を含め、作業員に対し現場 書類及び使用した資料等を整理する。 (6) 上記の(2)~(5)の活動については、	とともに、随時、実施状況の写真を撮	影すること。				
	階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き ・			・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・ ・ 単板オーバーレイ DV		工事検査の際に提示できるようにする	ること。					
			・ 化粧パーティクルボード	プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC 10(難燃) ・ 12(難燃) ・ 図示 凹凸タイプ	⑥ 工事検査	施工途中において工事検査担当職員また! ことがあるので、検査に協力すること。	は、発注機関の長の指定する職員によ	も扱打ち検査を実施する				
6. 合成樹脂塗床	塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆ ・ (19.4.2、3) (: 種別 施工箇所 エ 法 仕上げの種類	(表19. 4. 4, 5)	・ ロックウール化粧吸音板 DR	(・12 (不燃) ・15 ・19 ・図示・) ・フラットタイプ	① 被害届等	暴力団関係者から工事妨害による被害を	受けた場合は、被害届を速やかに警察 	こ提出すること。 				
	- 厚膜型塗床材 ・ 図示 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ 防滑仕上げ			(・9 (不燃)・12・図示・) ・25・図示・	⑧ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限						
	・ 戸膜型塗床材 ・ 図示 ・ 薄膜流し展べ工法 ・ 平滑仕上げ		グラスウール吸音ボード号32K GW-B① せっこうボード GB-R	0.5 (淮子縣) ※ 10.5 (子縣) 15 (子縣)	① 完成図等	完成図など維持管理に関する書類は、しま 	ゅん工後30日以内に提出し、必要に応 	じて取扱説明を行うこと。 				
	エボキン供脂系塗床 ・ 供脂モルタル工法 ・ 防滞仕上げ ・ 機能モルタル工法 ・ 防滞仕上げ ・ 機能・ ・ ア滞仕上げ ・ ※ 平滑仕上げ		・ 不燃積層せっこうボード GB-NC	9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラパーチン模様)	у вешти	エ記によるに、重日気の追がによる。						
	エボキン側脂糸塗床・工程		・ シージングせっこうボード GB-S ・ 強化せっこうボード GB-F	- 9.5 (準不燃) - 12.5 (準不燃) - 図示 - - 12.5 (不燃) - 15 (不燃) - 21 (不燃) - 21 (不燃) - 図示								
	<u> </u>		. ル粧サッコネギード	9.5								
	- アグリル側面塗床 (JIS K 5970) (内面塗粉(参生)) - 第利		(木目) ・ 化粧せっこうボード GR_D	模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り ・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 図示 ・								
	※ 水性色 ・溶剤系 ・無 性上げ色 ※ 裸準色 ・	無溶剤系	(トラバーチン模様)	表面の材種生地、透明塗料塗り								
		19. 5. 1~6)		(※ ラワン程度 ・ 図示 ・) 不透明塗料塗り								
	種 類 エ 法 樹種 厚さ 大きさ 仕上:		・ 普通合板	(※ しな程度 図示) 板面の品質 (図示)								
	・ 釘留め工法 ※ なら ・ のテ 15			厚さ(mm) (・図示・) 接着の程度・1類・2類 ・防虫処理・難燃処理								
	(権入張り)・ ※ 板幅75 ※ 板幅75 ※ 板幅75 ・ ※ 本品		工能士儿姓ム仁	検種名 (・図示・) 接着の程度 (・1類 ・ 2類)								
	・ フローリンク ボード1等 (直張り) ・ 図示 ・ 図示 400以上 ・ 図示 ・ 無塗装品		- 天然木化粧合板	厚さ(mn) (・図示・・) ・防虫処理 難燃処理								
				化粧加工の方法								
	・フローリング プロック1等 ・接着工法 ・図示 ・図示 ・ 機能を基本 ・ 図示 ・ 無能を基本 ・ 機能を		• 特殊加工化粧合板	接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ(mm) ()								
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	64	・ メラミン樹脂化粧板・ ポリエステル樹脂化粧板	・防虫処理 難燃処理 JIS K 6903 による (※ 1.2)								
	エ 法 樹種 種別 厚さ (mm) 大きさ (mm) 防湿 板幅 板長さ 処理	塗装仕上げ	せっこうボード等の下地は図示による。	1								
	* 15以上 • A種 · 図示 · 75		遮音壁 適用する 適用しない 天井ボードの重ね張り ※ 図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルム	アルデヒに対数量								
	新留め工法 ※ なら ・ 90 ・ 図示 ・	塗装品	A	, , , , , , I BAHAEL								
	・ 釘留め工法 (直張り) ・ ※ 12以上 ※ 303 ※ 1800以上		せっこうボードの目地工法	せっこうボードのエッジの種類								
	* C種 ・図示 ・図示 ・適用 ・ はい ・ はない ・ * * * * * * * * * * * * * * * * * *	無塗装品	・ 継目処理工法 ・ テー	-パーエッジ · ベベルエッジ - ルエッジ · スクエアエッジ								
	・接着工法 · 図示 · 図示 · 図示 · 図示		・ 目透し工法・ べ^	ルエッジ ・ スクエアエッジ								
	間伐村等の適用 ・ あり ・ なし フローリング、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量	_										
	※ 規制対象外又はF☆☆☆☆ 接着工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート											
	現場塗装仕上げ ・ 行う(施工箇所) ** ウレタン樹脂ワニス塗り(B種) ・ オイルステイン塗りの上、ワック: ・ 生地のままワックス塗り	ス塗り										
	・ 生地のままプラク人坐り ・ 行わない											
												2025.06改訂
	上田市都市建設部建築言		事業年度			$\overline{}$	事業名		ュニティーセンター収	₹納庫設置工事	SCALE No. Socilo	NO. A-3
		e1.	R-07				図名	建築工事	寺記仕様書(3/3)		No Scale	



□案内図 no scale

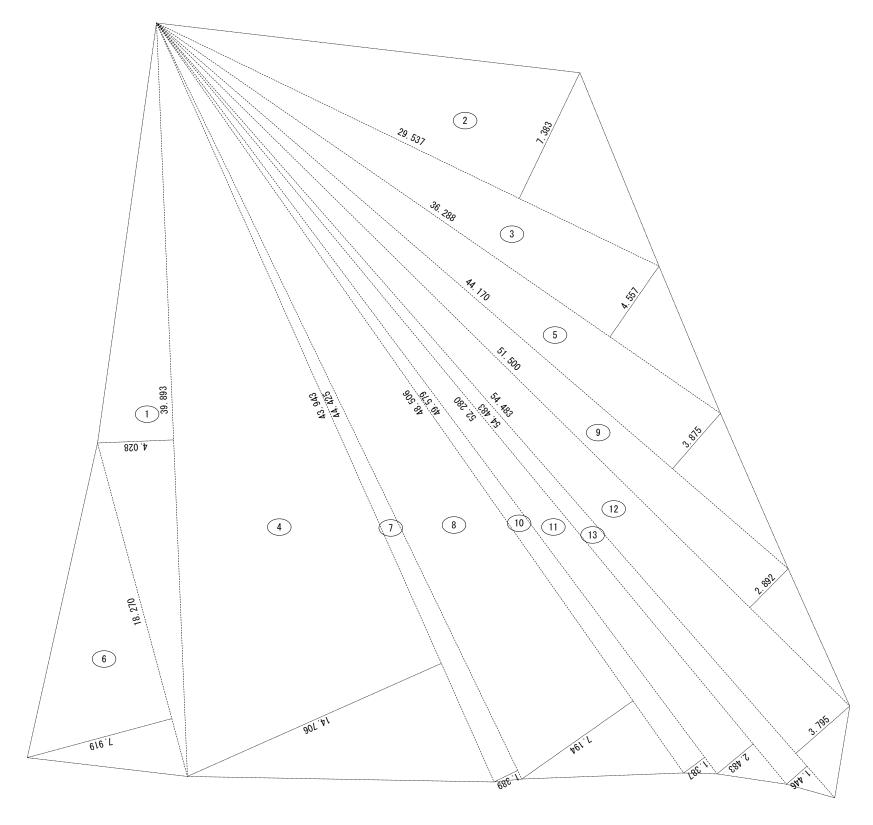


口建物概要

口是的佩文							
工事名称	古戦場公園コミュニティーセンター改修工事						
建築場所	長野県上田市下之条600、599、598-2、597-6, 597-1						
敷地面積	1274. 95m²						
構造・階数	木造・平屋建て						
主要用途	倉庫						
建築物高さ	最高高さ3.645m 軒高さ2.7m						
建築面積	16. 562m²						
算定式	4. 55m×3. 64m						
延床面積	16. 562m²						
算定式	4. 55m×3. 64m						

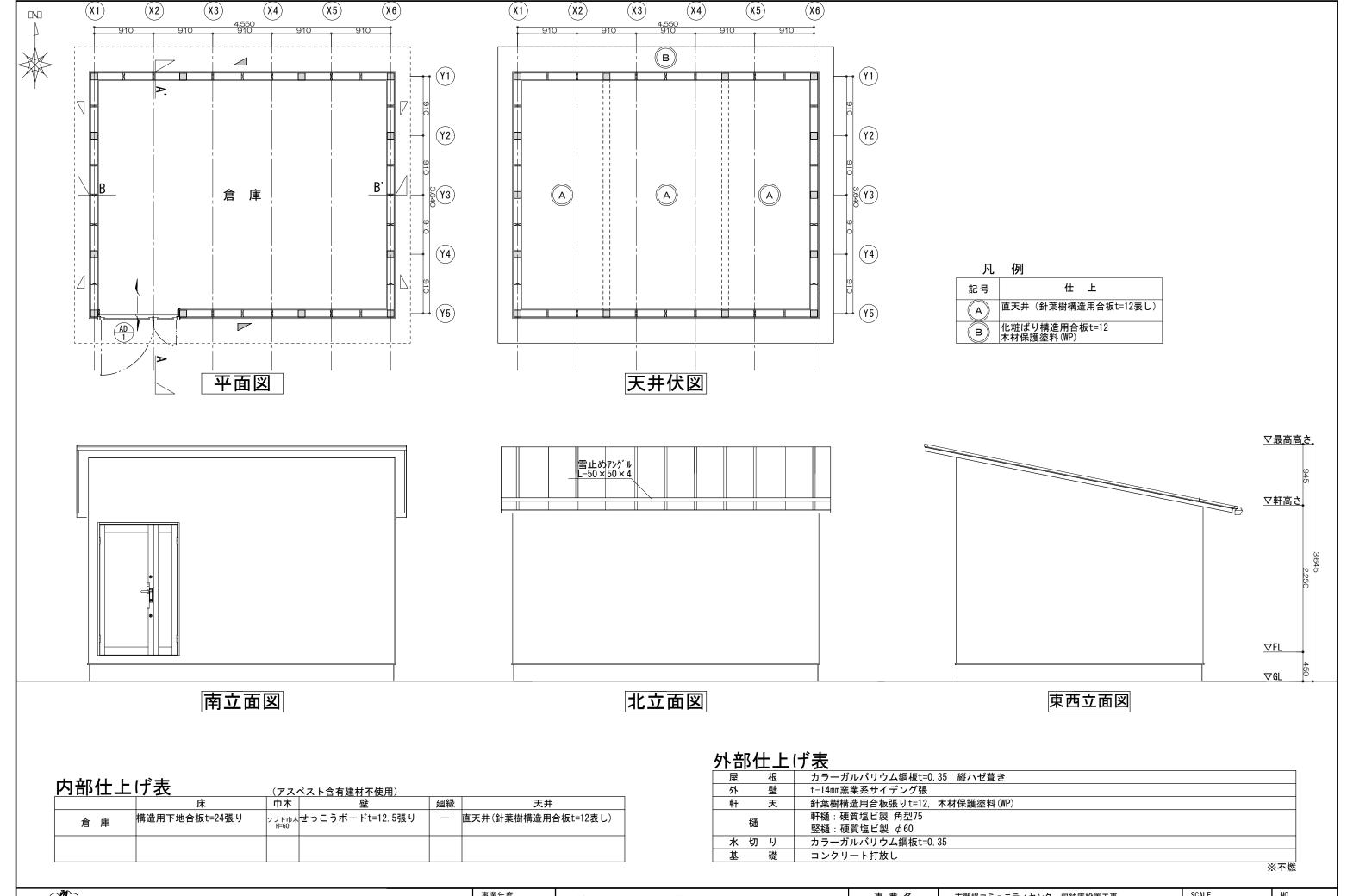
□申請建物求積図



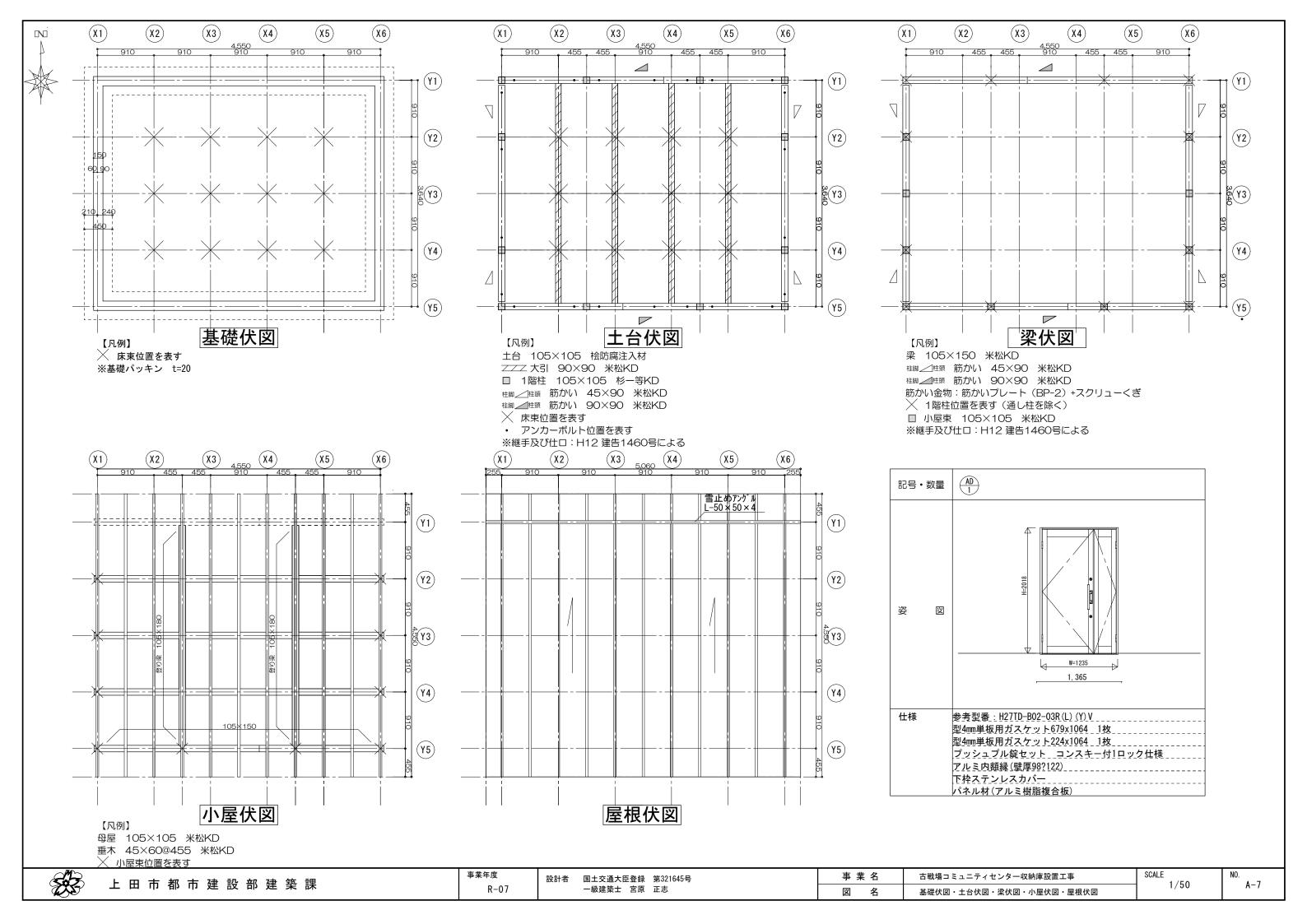


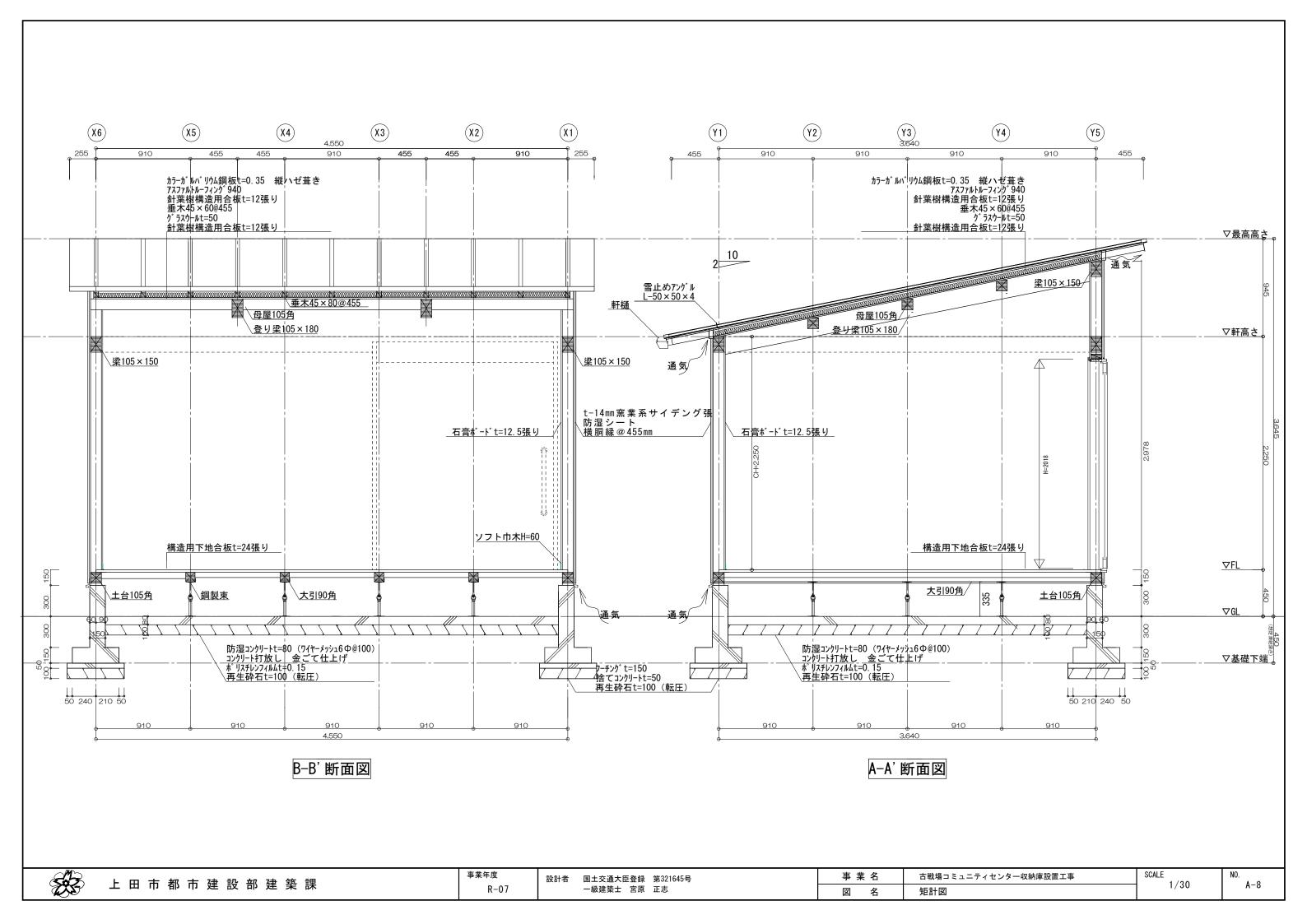
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	39. 893	4. 028	160. 689004	80. 3445020
2	29. 537	7. 383	218. 071671	109. 0358355
3	36. 288	4. 557	165. 364416	82. 6822080
4	43. 943	14. 706	646. 225758	323. 1128790
5	44. 170	3. 875	171. 158750	85. 5793750
6	18. 270	7. 919	144. 680130	72. 3400650
7	44. 425	1. 389	61. 706325	30. 8531625
8	48. 506	7. 194	348. 952164	174. 4760820
9	51. 500	2. 892	148. 938000	74. 4690000
10	49. 579	1. 387	68. 766073	34. 3830365
11	52. 280	2. 483	129. 811240	64. 9056200
12	54. 483	3. 795	206. 762985	103. 3814925
13	54. 483	1. 446	78. 782418	39. 3912090
		1, 274. 9544670		
		1, 274. 95 m²		

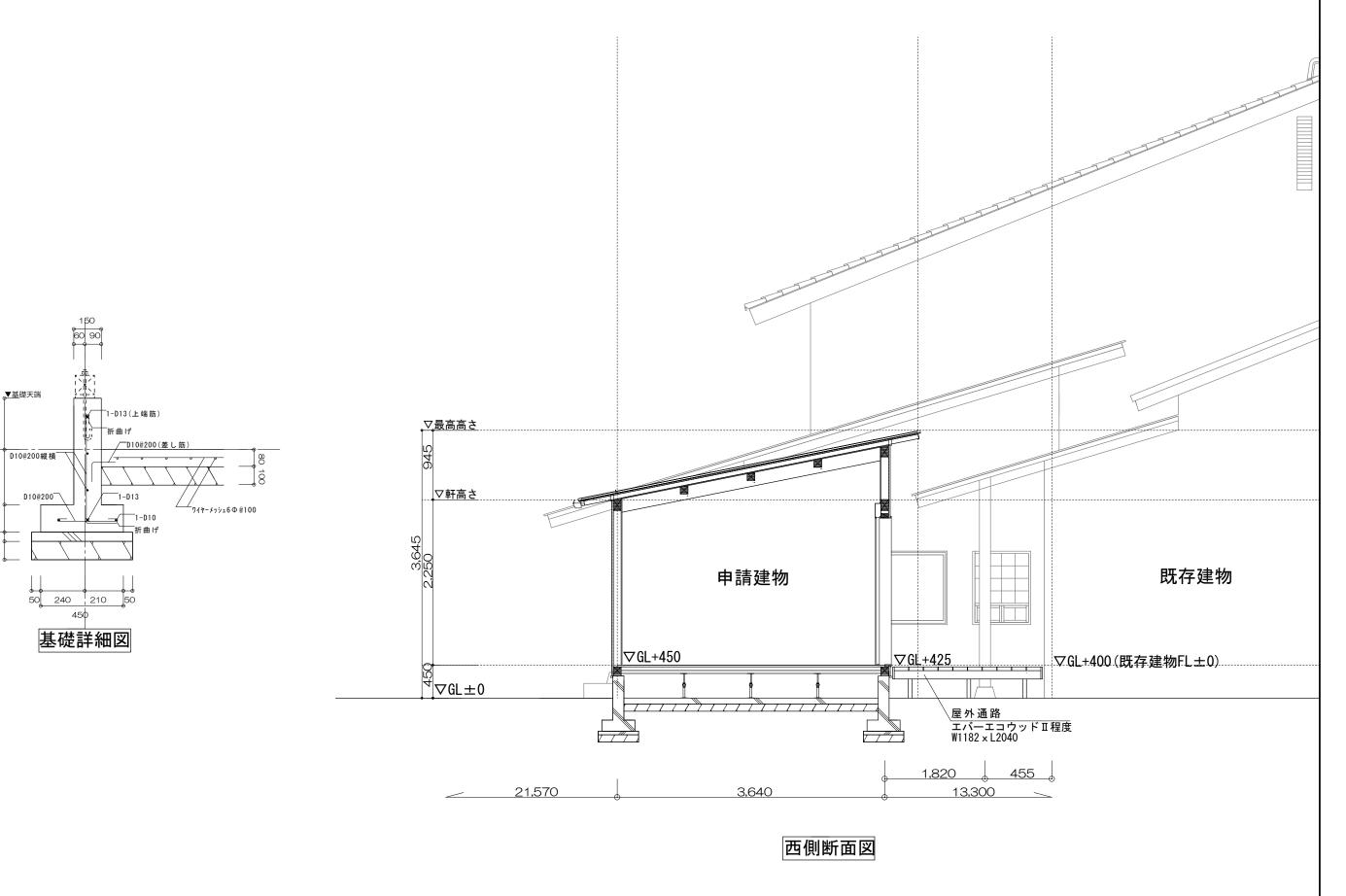
□敷地求積図 1/200



 上田市都市建設部建築課
 事業年度
 設計者 国土交通大臣登録 第321645号
 事業名
 古戦場コミュニティセンター収納庫設置工事
 SCALE 1/50
 NO. A-6









▼設計GL